

公表

事業所における自己評価結果【児童発達支援】

事業所名		公表日			
ウィズユ-高円寺		令和 7 年 12 月 15 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	相談室を活用したり、公園に出かける等で広いスペースでの活動が出来るように工夫している。	児童発達支援は利用人数が少ないので広々使う事が出来ない。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	職員の役割分担をする事で、スムーズに活動が進められるようにしている。	基準は満たしているが、利用者の状況により少ないと感じる事があるため、人材確保と職員のスキルアップをしていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	テブラなどで可視化し分かりやすいようにしている。バリアフリーではないため、入口の階段や、トイレの段差など危険箇所では見守りを行うようにしている。	引き続き危険箇所での見守りと、近隣への配慮を継続しながら、自立を促せるような環境作りを行っていく。椅子や机が子供用ではない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2		清掃が行き届いていない箇所があるため、定期的な大掃除を行っていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要に応じて個室を使用したり、個室が使えない時には散歩に行くことで気分転換が出来るようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	月に1度は職員会議を行い、児童の様子やニーズを共有し、個別支援計画の作成を行っている。	日々の活動において全体で振り返る時間が設けられていない。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	年に1回保護者評価を行い、公表し改善を図っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	都度、職員同士で意見交換が出来ている。普段の会話等で話したことも共有し生かす事が出来ている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		今後、第三者評価については実施を検討している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	事業所内や外部研修を適宜行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	支援プログラムについてはHPで公表している。	日々の支援プログラムについては、今後SNSで公開していく予定。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	児童指導員にも日々の様子をヒアリングしながら、計画の作成を行っている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	適宜ケース会議を開催し、情報の共有をしている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	アプリでの計画作成に移行した為、いつでもアプリから計画等を確認する事が出来る。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	職員それぞれが気付いた事をケース会議や、LINEで情報を共有し、児童の状況を把握する事が出来ている。	ブレインプログラムの導入を検討している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	職員にもヒアリングしながら日々の様子に基づき目標や支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員同士で話し合い、プログラムを作成している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	今までの経験や、SNS等で探しながら、色々なプログラムを取り入れられるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別・グループ・集団等個々のニーズに合わせて組み合わせながら支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	1か月のプログラムの予定を立てるようにして、非常勤の職員ともプログラムを共有できるようにした。	なるべく事前にできるように心がけているが、直前での役割分担になったり、準備が出来ていないこともある為、事前準備をしっかり行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	7	緊急性がある場合には、グループLINEにて報告している。	送迎の関係で終業時間までには行えないこともあるが、必要があれば翌日に行うようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	アプリを利用する事で保護者様に即日記録を確認していただけるようにしている。	記録の作成は行っているが、支援の検証には繋がっていないため、研鑽を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年に一度、または状況に変化があった場合には、モニタリング・アセスメントを行い、支援計画の更新を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	会議に参加する前には職員からのヒアリングを実施している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	連絡会や研修などには積極的に参加するようにしている。	協力医療機関の指定は行っているが、保育所等との連携の機会があまりなく、行っていないため、機会があれば行っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		現在保護者様からのご希望はないが、ご希望があれば関係機関に情報を提供する事が出来る。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3		現在保護者様からのご希望はないが、ご希望があれば関係機関に情報を提供する事が出来る。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	研修等に参加している。	杉並区の児童発達支援利用者がいないため、行っていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		協同していただける施設様があれば実施を検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	アプリやSNS等、送迎時に情報の共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		SNSを利用し、ご家族や一般向けのセミナーの告知を行っていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明と、HPでの公表を行っている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	毎回更新時にはアセスメントを実施している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	アプリでの計画作成に移した為、いつでもアプリから計画等を確認する事が出来るようになった。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者様からのご希望がある場合には対面やオンラインでの面談を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	8月にご家族参加のイベントを実施した。	今後保護者会実施予定。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	保護者様からのご希望がある場合には対面やオンラインでの面談を実施している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	アプリやSNS等、送迎時に情報の共有を行っている。	SNS等を積極的に活用し、活動予定なども公開していく予定である。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域住民を招待したり、地域行事に参加する事はしていないが、環境が整えば参加していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	マニュアルはいつでも見る事が出来るようにしている。訓練も定期的に実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCP策定しており、BCPもいつでも閲覧できるようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	服薬等の児童の状況については、グループLINE等で共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2		保護者様からの申告のみで、医師の指示書などは特に確認していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	危険箇所があれば、都度対策を講じている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		周知が足りない部分もある為、今後実施予定の保護者会などで周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット報告書を作成し共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2	入職時と、年に1度は虐待、身体拘束の研修を実施している。	事例検討などを行い、虐待防止の意識を高めるようにする。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		現在身体拘束の対象者がいない。